

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%  
保護者様： 14名回答、回答率 82%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・法令上の人員の基準は満たすことができている。人手の不足があった場合はヘルプを呼ぶ等、他教室とも協力をして補填をしている。
- ・教室内は段差が少なくフラットである。出入口の段差に注意が必要だが、補助が必要な利用者には手を添える、荷物を代わりに持つ等職員が補助を行っている。

### ○業務改善

- ・評価シートを活用して定期的に業務の振り返りを行っている。また、職員一人ひとりが自身で業務の振り返りを行い、課題の改善に努めている。
- ・職員全員が児童特性や支援方法等についての動画研修を受け、支援の質の向上に努めている。

### ○適切な支援の提供

- ・集団活動に関しては全ての職員が療育内容の立案や主担当を行うことで、様々な視点から利用者に沿った療育や支援が実施出来る様に努めている。
- ・利用者や保護者のニーズに沿った課題を設定し、保護者と日々定期的に相談をしながら個別支援計画を基に支援の提供を行っている。
- ・業務前MTGを通して、職員間で支援方針や利用者状況などについて話し合いを行っているが、時間が合わない時にいかに全体把握ができるかが今後の課題となる。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・学校へのお迎え時に利用者の様子についての共有や連携をしながら関係性を築いている。
- ・保護者へはサービス提供記録や送迎時の引き渡し等の際に日頃の利用者の様子を詳細にお伝えできるよう努め、支援方針を確認している。
- ・関係機関との連携の機会が少ないため、今後増やしていけるとよい。

### ○保護者への説明責任等

- ・毎月ニュースレターで教室の様子を伝えており、特別開室の案内等も各ご家庭へ適宜行っている。
- ・ブログの更新が不十分である為、今後の更新頻度を上げられるよう努める。

### ○非常時等の対応

- ・食物アレルギーのある利用者がいるため、提供するおやつの成分表を細かく確認し、安全なおやつの提供・食品の管理を行う様、教室全体で意識を高め、徹底している。
- ・毎月必ず地震・火災・水害等、様々なケースを想定とした訓練を計画を立て実施している。
- ・虐待防止・身体拘束の研修を年2回以上実施。職員全体の意識の向上に努めている。
- ・災害時対応の訓練を行っている旨を改めて保護者にも共有・周知をする必要性があると感じている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

- ・教室内で横になる際、床に直接寝転がると衛生面が気になる。冬場は寒さだったり子どもの体にも負担がかかる為、簡易的なジョイントマット等を導入してもらいたいとご意見をいただいた。
- ・普段の教室内を見る機会が少ないので、環境や体制をあまり知ることができていないとご意見をいただいた。

### ○適切な支援の提供

- ・児童館等の他施設との交流は特になくともよい、必要性を感じていないご意見もいただいた。
- ・個別支援計画や療育活動の内容について、保護者や利用者のニーズに沿ったものを実施している点を回答者全員から「はい」との評価をいただいた。
- ・活動プログラムが固定化しないよう工夫されているかについても、回答者全員から「はい」の評価をいただいた。

### ○保護者への説明等

- ・「日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題についての共通理解ができているか」について回答者全員から「はい」と回答を頂き、支援の内容、利用者負担についての丁寧な説明、面談やご家庭での支援についての助言等についても、9割以上の方から高い評価をいただいた。
- ・個人情報取り扱いについて、十分注意しているとの評価を回答者全員からいただいた。

### ○非常時等の対応

- ・避難訓練等、非常時の対応について毎月の実施はしている。一方でどのような内容を行っているのかは分からないとご意見をいただいた。

### ○満足度

- ・「子どもは通所を楽しみにしているか」の回答は全員から「はい」という回答をいただいた。
- ・回答者の9割以上に支援に満足をしているとの評価をいただいた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

- ・現在利用している方や利用を希望される方々に向けて、教室内の様子や活動の取り組みについて理解を深めて頂く機会を増やしていくために、これまでなかなか更新ができていなかったブログの更新頻度を増やし、周知活動を行っていく。
- ・課外活動等で地域の施設や公共の場を利用する企画を検討し、実施に繋げる。
- ・コロナ禍においても安心して利用頂けるように、感染対策を行いながら支援継続のツールを周知し、児童の課題に沿った療育支援・遠隔支援を実施していく。

### ○改善できた点・まだ残る課題

- ・ブログについて、更新はできたが頻度としては高くない為、改善していくことが課題である。
- ・近隣施設や公共の場を利用する課外活動等を企画し、昨年度より多く実施することができた。
- ・コロナ5類移行に伴い代替支援の実施がなくなりましたが、実施期間中は感染懸念などを考慮したうえで支援を継続して提供することができていた。直接支援においても、スムーズな利用移行のご案内できていた。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・日々、利用者の様子を丁寧にお伝えしすること、学校や家庭との連携、保護者とのコミュニケーションを大事にしている。
- ・子ども一人ひとりに沿った支援を各職員が意識し、教室全体で考えることができる。また、療育活動等にも目的に沿った内容の充実、工夫に努めて取り組んでいる。
- ・ほとんどの児童が通所を楽しみしてくれており、保護者からの支援満足度も高い。

### ○改善点

- ・普段教室で取り組んでいること等がご家庭や保護者に伝わりきっていない部分がある為、周知の方法を改めて検討していくこと。
- ・支援終了後の振り返り、全体でのミーティング等で日々情報共有を行っているが、日程や時間が合わない中での全体把握は十分とは言えないため、今後の改善が必要になる。
- ・ブログの更新頻度低く、定期的ではなかったこと。教室での様子をより伝わりやすく知って頂けるよう、毎月のニュースレターに加え、ブログなどでの掲示を増やしていく。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・引き続き、利用者や保護者に寄り添った支援や療育の提供を目指していく。
- ・地域の施設等の利用機会を設けるなどして活動プログラムが固定化しない工夫、休日等の活動企画の充実化及び、利用者満足度向上を図る。
- ・教室内ミーティングの時間を十分に取れるよう調整し、長期休み等に向けた情報共有ツールの模索と実施を行っていく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・現在利用している方、これから利用を希望される方々に向けて教室理解を深めてもらう機会を増やしていくために日々の様子をこまめにお伝えしていくと共に、ブログ更新などを通して周知活動を行っていく。ブログの更新は、月1回ペースを目標に取り組んでいく。
- ・より一層、安心して利用していただける教室を目指し、必要に応じた感染対策や環境整備に取り組んでいく。
- ・共有ノート等の活用を取り入れ、職員間の連携強化を目指す。
- ・子ども達からのリクエストを取り入れたり、社内ツールの療育活動案なども参考にした活動プログラムの充実化、児童の課題に沿った療育支援を実施していく。

スマートキッズ